

砂やゴミが川底にそって、流れているようすを観察する。

(4) 川原のレキを調べる。

- ① ㊦の川原で、レキや砂のつもり方が平均しているような所を選んで、1 m 四方の方形枠で囲い、枠内の長径 5 cm 以上のレキのすべてを新聞紙上にとり出し、表面に見えるレキのみ、大きさ、形、種類で分ける。



(5) 調べた結果を次のように表にまとめる。

大きさ (cm)			形			種類		
5~10	10~15	15~20	円	垂円	角	花崗岩	硬砂岩	緑色変石
48	13	6	6	50	11	6	4	57
72%	19%	9%	9%	75%	16%			

レキの形や大きさを、下流のもの（好間第二小学校の資料）と比較し、流水のはたらきについて考察させる。

### サンド・パイプ(生痕化石)

層理面に垂直に、細長いパイプ状の砂の塊が見られます。これは、砂や泥がつもっている海浜や水底で、カニや貝が穴を掘ってすんでいたところに、後から土砂がたい積してできたものです。これをサンド・パイプとよびますが、昔、生物のすんでいた跡なので、生痕化石ともよばれます。



(富岡町)